メイン会場として嵯峨嵐山文華館（SAMAC）を新たに迎え、

嵐山から東福寺まで京都のまちを現代アートで彩る「AFK2027」

「AFK Resonance Exhibition」開催決定



10回を迎えるAFK2027、スケールアップし3会場に！

歴史と伝統が息づく京都を舞台にしたアーティスト主導のアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO 2027（略称：AFK2027）」（主催：京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会）は、「京都国立博物館 明治古都館」に加え、昨年に続き開催となる「大本山東福寺」、そして新たに「嵯峨嵐山文華館（SAMAC）」を迎え、メイン3会場で開催します。
10回目となる今回は、京都国立博物館で若手アーティスト41名が展示・販売するほか、東福寺と嵯峨嵐山文華館（SAMAC）では「AFK Resonance Exhibition」を展開。総勢68組のアーティストが参加します。
京都市内を横断する3つの歴史的・文化的空間を会場に、これまでにないスケールで現代アートの最先端をお届けします。

世代を超えた表現の「共鳴」を生む、Resonance Exhibition

「Resonance（共鳴）」をテーマに掲げ、AFK2026に東福寺で始まったプログラムを発展させ、今回は２つの会場で展開します。
本展では、過去AFKに参加した若手アーティストの中から本展の趣旨に沿うセレクテッドアーティスト11名(東福寺6名、嵯峨嵐山文華館5名)を選定。ディレクターの椿昇をはじめ、アドバイザリーボードの加藤泉、名和晃平、ヤノベケンジ、ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家として知られるやなぎみわ、国内外の展覧会やアートプロジェクトで活躍する現代美術家・持田敦子ら、日本のアートシーンを牽引するアーティストとともに、代表作や新作を披露します。
会場となる東福寺では、前回の方丈や境内に加え、今回初めて、国指定重要文化財であり中世から現存する日本唯一の坐禅道場「禅堂」を展示会場として使用します。また、新たにメイン会場として迎える嵯峨嵐山文華館では、嵐山の自然と文化に囲まれた空間の中で作品を紹介。歴史や文化を色濃く残す2つの会場と現代アートが響き合い、本展ならではの鑑賞体験を創出します。



大本山東福寺
AFK Resonance Exhibition 2026年の様子

プロジェクトに関するお問い合わせ
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
（事務局：京都府文化生活部文化芸術課）
TEL：075-414-4219（10:00-17:00/土日祝休み）
E-mail：bungei@pref.kyoto.lg.jp

取材・掲載についてのお問い合わせ
「ARTISTS' FAIR KYOTO 2027」広報事務局（ネネラコ内）
E-mail：afk@nenelaco.com
Tel：06-6225-7885
〒531-0072　大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

■広報用画像申込フォーム
https://forms.gle/wmUihNVbR23txQJs5

■ 大本山東福寺について

臨済宗東福寺派の大本山。摂政九條道家が造営し、嘉禎2年（1236）から19年の歳月をかけて建立されました。京都五山の一つに数えられ、伽藍や庭園など数多くの文化財を有する京都を代表する禅寺です。AFK2027では、方丈や境内に加え、新たに重要文化財「禅堂」を展示会場として使用します。



禅堂 重要文化財

1347年に再建された、わが国最古最大かつ中世から現存する唯一の坐禅道場。
僧侶が坐禅や修行を行うための空間として今日まで受け継がれており、禅の精神と歴史が息づく静謐な空間です。
AFKでは今回初めて展示会場として活用し、ディレクター・アドバイザリーボードの新作や代表作が多数展示されます。



東福寺本坊庭園（方丈）

明治23年（1890）に再建された方丈には、作庭家・重森三玲が昭和14年（1939）に手がけた「国指定名勝 東福寺本坊庭園（八相の庭）」があります。
東西南北の四庭で構成され、方丈の四周に庭園を巡らせたものとしては唯一の庭園です。
近代禅宗庭園の白眉として広く世界に紹介されており、AFK2027では歴史的な建築・庭園空間を舞台に作品を展示します。

■ 嵯峨嵐山文華館（SAMAC）について



嵯峨嵐山文華館（SAMAC）は百人一首ゆかりの小倉山を背にし、古来より著名な景勝地であった嵐山・大堰川を借景として取り込んだミュージアムです。
百人一首の魅力を伝える常設展に加え、日本の美を身近に感じて楽しめる企画展を開催しています。
120畳の広さを誇る畳ギャラリーや窓から見える美しい自然と、若いアーティストの挑戦的な作品とのコラボレーションをぜひお楽しみください。

■ アドバイザリーボード・セレクテッドアーティスト　コメント



アドバイザリーボード　やなぎみわ

博物館や寺院での展示に挑み、他の作家と肩を並べ、不特定多数の人と対話するのは貴重な経験です。私が卒業後に、はじめて展示したのも京都の有名庭園でした。その時の緊張と悲喜こもごもを今でもよく覚えています。若手作家にとってAFKが制作活動を維持する、大きな足がかりだったと将来に思える日が来ると思います。東福寺・禅堂の巨大空間での展示もお楽しみに！



セレクテッドアーティスト for SAMAC　西垣肇也樹

京都にアートフェアを根付かせ、10周年を迎えたことは、とてつもない快挙です。その市場で作品が売れれば、学びと表現に費やした時間が承認された喜びも生まれます。一方で、アートの役割のひとつは資本主義への問いです。その矛盾を抱えて、どう生きるかを問い続けること、それがAFKからもらったものです。これからも京都のアート市場の牽引をお願いいたします。

プロジェクトに関するお問い合わせ
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
（事務局：京都府文化生活部文化芸術課）
TEL：075-414-4219（10:00-17:00/土日祝休み）
E-mail：bungei@pref.kyoto.lg.jp

取材・掲載についてのお問い合わせ
「ARTISTS' FAIR KYOTO 2027」広報事務局（ネネラコ内）
E-mail：afk@nenelaco.com
Tel：06-6225-7885
〒531-0072　大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

■広報用画像申込フォーム
https://forms.gle/wmUihNVbR23txQJs5

■ 出展アーティスト　※2026年11月25日現在

ディレクター・アドバイザリーボード


池田光弘
撮影：Mahiro Tsuruda

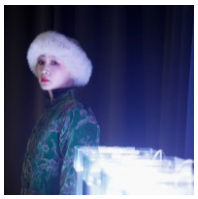

薄久保香


大庭大介
撮影：You Ishii


大巻伸嗣
撮影：市川勝弘


加藤泉
撮影：Claire Dorn


鬼頭健吾


笹岡由梨子
撮影：来田猛


鷹野隆大
撮影：山崎美奈


田村友一郎


椿昇
撮影：Aiko Yuno


名和晃平


持田敦子
撮影：Pezhman Zahe


ミヤケマイ
撮影：Norio Kidera


やなぎみわ


ヤノベケンジ


Yotta

セレクテッドアーティスト for 東福寺


香月美菜
（出品：AFK2019 ほか）
撮影：Kenryou Gu


黒川岳
（出品：AFK2020）


たかくらかずき
（出品：AFK2021）
撮影：Takashi Kawashima


寺澤季恵
（出品：AFK2025）


NAZE
（出品：AFK2021 ほか）


野田幸江
（出品：AFK2021）

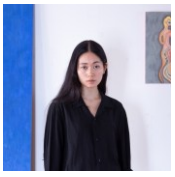
セレクテッドアーティスト for SAMAC


白旗花呼
（出品：AFK2026）


西垣肇也樹
（出品：AFK2024 ほか）


丹羽優太
（出品：AFK2025）


本岡景太
（出品：AFK2025）


森夕香
（出品：AFK2024）

※展示エリア及び出展アーティストは、今後変更される場合がございます。変更が生じる場合は、公式ウェブサイトで改めてお知らせいたします。

プロジェクトに関するお問い合わせ
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
（事務局：京都府文化生活部文化芸術課）
TEL：075-414-4219（10:00-17:00/土日祝休み）
E-mail：bungei@pref.kyoto.lg.jp

取材・掲載についてのお問い合わせ
「ARTISTS' FAIR KYOTO 2027」広報事務局（ネネラコ内）
E-mail：afk@nenelaco.com
Tel：06-6225-7885
〒531-0072　大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

■広報用画像申込フォーム
https://forms.gle/wmUihNVbR23txQJs5

■ 出展アーティストの代表作品（ディレクター・アドバイザリーボード）



池田光弘《untitled (figure no.11)》
制作年：2024年
サイズ：2273×1620mm
素材：Oil on canvas



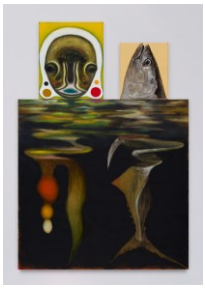
薄久保香《SF》
制作年：2021年
サイズ：1620×1300mm
素材：Oil on panel



大庭大介《SPECTRUM》
制作年：2021年
サイズ：800×800×45mm
素材：Acrylic, linen, wooden panel
撮影：Nobutada OMOTE



大巻伸嗣《Gravity and Grace》
制作年：2023年
サイズ：作品本体｜7000×φ4000mm
空間｜50000 ×8000×8000mm
素材：ステンレス、LEDライト
詩(床面にステッカー)：関口涼子
撮影：木奥恵三



加藤泉《Untitled》
制作年：2026年
サイズ：2350×1620mm
素材：Oil on canvas
撮影：Kei Okano
Courtesy of the artist
©2026 Izumi Kato



鬼頭健吾《lines》
制作年：2025年
素材：アルミにペンキ
撮影：Photo by Ilaria Zago - Joan Porcel Studio



笹岡由梨子《タイマツ》
制作年：2026年
映像インスタレーション
撮影：麥生田兵吾



鷹野隆大《「赤い革のコートを着ている」(2002.05.04.L.#03)
「イン・マイ・ルーム」シリーズより、2002/2006》
制作年：2022年
Courtesy of Yumiko Chiba Associates



田村友一郎《TiOS》
制作年：2024年
インスタレーション



椿昇《The elephant in the room XL》
制作年：2026年
サイズ：5000×17000×6000mm
素材：ナイロン製インフレータブルバルーン
撮影：小山田邦哉



名和晃平《PixCell-Carp#9》
制作年：2025年
サイズ：101×300×400mm
素材：Mixed media
撮影： Nobutada OMOTE



持田敦子《衝突（あるいは裂け目）》
制作年：2021年
撮影：Tsuyoshi Hongo

プロジェクトに関するお問い合わせ
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
（事務局：京都府文化生活部文化芸術課）
TEL：075-414-4219（10:00-17:00/土日祝休み）
E-mail：bungei@pref.kyoto.lg.jp

取材・掲載についてのお問い合わせ
「ARTISTS' FAIR KYOTO 2027」広報事務局（ネネラコ内）
E-mail：afk@nenelaco.com
Tel：06-6225-7885
〒531-0072　大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

■広報用画像申込フォーム
https://forms.gle/wmUihNVbR23txQJs5



ミヤケマイ《エデンの西》
制作年：2022年
素材：木、スチール、プラスチック、
箔、和紙 他
撮影：Satoshi Shigeta



やなぎみわ《黄泉平坂　排斥と遊戯》
制作年：2025年
舞台公演

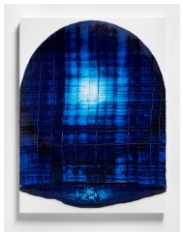


ヤノベケンジ　大阪中之島美術館「驚異の部屋の私たち、消滅せよ。— 森村泰昌・ヤノベケンジ・やなぎみわ —」展示風景
制作年：2026年



Yotta《花子》
制作年：2011年
サイズ：12500×5000×5000mm
素材：ターポリン、ステンレス、鉄、
その他ミクストメディア

■ セレクテッドアーティスト for 東福寺



香月美菜《9:02:15》
制作年：2022年
サイズ：2590×1940×45mm
素材：Wood panel, linen, acrylic, pigment
Courtesy of Yumiko Chiba Associates
撮影：Kenryou Gu



黒川岳《竹鳴林》
制作年：2026年
サイズ：可変
素材：ミクストメディア
撮影：Kenryou Gu



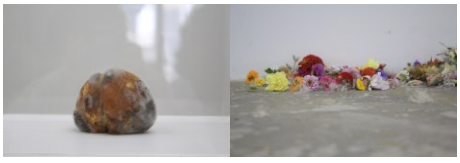
たかくらかずき《GAME OVER》
制作年：2025年
サイズ：1000×1000×2000mm
素材：仏壇・コンピューター



寺澤季恵《生生2》
制作年：2025年
サイズ：2000×1400×1400mm
素材：ガラス、鉄、シリコン、ウレタン



NAZE《MUON》
制作年：2022年
サイズ：1180×1180×60mm
素材：キャンバス、アクリル、スプレー、ペン



野田幸江《腐っていくことやここからの眺め》
制作年：2021年
インスタレーション
素材：桃、花、水、樹木、草、綿毛、その他植物等

プロジェクトに関するお問い合わせ
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
（事務局：京都府文化生活部文化芸術課）
TEL：075-414-4219（10:00-17:00/土日祝休み）
E-mail：bungei@pref.kyoto.lg.jp

取材・掲載についてのお問い合わせ
「ARTISTS' FAIR KYOTO 2027」広報事務局（ネネラコ内）
E-mail：afk@nenelaco.com
Tel：06-6225-7885
〒531-0072　大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

■広報用画像申込フォーム
https://forms.gle/wmUihNVbR23txQJs5

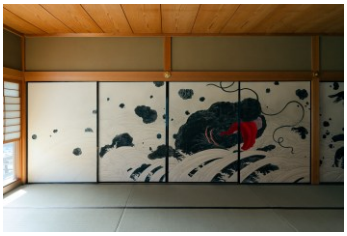
■ セレクテッドアーティスト for SAMAC



白旗花呼《東の空が燃えている》
制作年：2026年
サイズ：1455×1120mm
素材：キャンバスに油彩



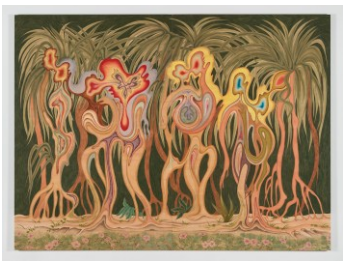
西垣肇也樹《A day in Nihonbashi》
制作年：2026年
サイズ：1010×2058.5mm
素材：墨、金箔、顔料、膠、和紙、パネル
撮影：大河原光



丹羽優太《光明院襖絵》
制作年：2025年
サイズ：襖絵32面
素材：又紙、墨、顔料
光明院蔵



本岡景太《IMMANENT FOLD(on the generation of sculpture)》
制作年：2026年
サイズ：1000×1600×400mm
素材：漫画雑誌、酢酸ビニル系樹脂



森夕香《Continuum》
制作年：2026年
サイズ：1940×2606×35mm
素材：木製パネル、和紙、日本画顔料

■ 開催概要

ARTISTS' FAIR KYOTO 2027

京都国立博物館 明治古都館　会場　［京都市東山区茶屋町527］
会期：2027年3月5日（金）～7日（日）
時間：9:30-17:00（最終入場16:30）
内容：若手アーティスト作品展示・販売

大本山東福寺　会場　［京都市東山区本町15丁目778］
会期：2027年3月5日（金）～10日（水）
時間：9:00-16:00（最終入場15:30）
内容：AFK Resonance Exhibition
（アドバイザリーボード/セレクテッドアーティスト作品展示・販売）

嵯峨嵐山文華館（SAMAC）　会場　［京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11］
会期：2027年3月5日（金）～10日（水）
時間：10:00-17:00（最終入場16:30）
内容：AFK Resonance Exhibition
（セレクテッドアーティスト作品展示・販売）

主催：京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会
後援：経済産業省、文化庁、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会
URL：https://artists-fair.kyoto/

京都国立博物館 明治古都館



大本山東福寺



嵯峨嵐山文華館（SAMAC）



プロジェクトに関するお問い合わせ
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
（事務局：京都府文化生活部文化芸術課）
TEL：075-414-4219（10:00-17:00/土日祝休み）
E-mail：bungei@pref.kyoto.lg.jp

取材・掲載についてのお問い合わせ
「ARTISTS' FAIR KYOTO 2027」広報事務局（ネネラコ内）
E-mail：afk@nenelaco.com
Tel：06-6225-7885
〒531-0072　大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

■広報用画像申込フォーム
https://forms.gle/wmUihNVbR23txQJs5